## 災害医学

担当講座	救急・災害医学講座 問合・七先 救急・災害医学講座										
分野責任者	真瀬 智彦 教授 連絡先 内線5565										
担当教員	真瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 近藤 久禎 非常勤講師 冨岡 正雄 非常勤講師										
人材育成の 基本理念	災害医学全般を理解し、実際の災害において災害現場、被災病院、災害対策本部等	害医学全般を理解し、実際の災害において災害現場、被災病院、災害対策本部等で従事できる人材を育成する。									
主な研究内容	日本大震災など以前の災害の医療活動を総括し、今後の大規模災害に対応できる仕組みを構築する。										
	教育成果			該当するディプロマポリシー							
教育成果 (アウトカム)	(1) 災害医学全般について理解することで 宝災害において活動できる医療人に到達する										
	達成目標	対象科目									
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる	医学概論									
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究I·II									
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる	特別研究I·II									
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる	多職種連携チーム医療									
達成目標	(5)次世代の育成に貢献できる		特別研究I·II								
	(6)過去の災害から得た教訓について学び、今後の課題について説明できる。		災害医学概論、災害医学基礎修練1・3、	書医学概論、災害医学基礎修練1・3、災害医学1・3							
	(7)災害時に情報を収集し、状況を判断して、医療活動方針を立てることができる。		災害医学概論、災害医学基礎修練1・2・4	4、災害医学2・4							
	(8)被災地での医療活動ができる。		災害医学基礎修練3・4、災害医学1・2・3	3 · 4							
	(9)他機関との連携ができる。		災害医学概論、災害医学基礎修練1・2・4	4、災害医学2・3・4							
	(10)避難所での活動について説明できる。		災害医学基礎修練1・2・4、災害医学2・3	3 • 4							
資格取得等											
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に参加できない場合は、日程調整に応じる。(	問い合わせ先	:災害医学分野・内線5565)								

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区	区分配当年次		科目名			コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
		1年	講義・演習	災害医学概論	前期	837	1		
		1年	講義・演習	災害医学基礎修練1(急性期~慢性期)	前期	15コマ	2		
		1年	講義・演習	災害医学基礎修練2(現場指揮・本部運営・CSM)	後期	15コマ	2		
研		2年	講義・演習	災害医学基礎修練3(特殊災害)	通年	30コマ	4		
究 特	必修	2 年	講義・演習	災害医学基礎修練4 (ロジスティクス)	通年	30コマ	4	20単位	
論		1・2年	講義・演習	災害医学1(医療救護班・DMAT)	通年	15コマ	2		
		1・2年	講義・演習	災害医学2(情報)	通年	15コマ	2		
		1 · 2年	講義・演習	災害医学3(災害保健医療)	通年	15コマ	2		
		1・2年	講義・演習	災害医学4 (コーディネーター)	通年	837	1		
特 別	必	1年		特別研究 I (中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
研究	修	2年		特別研究Ⅱ(論文作成)	通年	15コマ	2	4千匹	

コード	MM11201010				MM11201020			MM11201030				MM11201040				
A1 III	災害医学概論				災害医学基礎修練 1			災害医学基礎修練 2			災害医学基礎修練3					
科目		火告医子(	<b>坎</b> 誦			(急性期~	(急性期~慢性期) (現場指揮·本部運営·CSM)			M)	(特殊災害)					
科目責任者		真瀬智彦	Ī		眞瀬智彦				真瀬智	爹			真瀬智彦			
担当者	真瀬智彦、藤原弘之、富永綾				眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾				真瀬智彦、藤原弘	之、富永	綾		真瀬智彦、藤原弘之、富永綾			
会場	災害旺	時地域医療支援教育	マンター値	开究室	災割	<b>『時地域医療支援</b>	教育センタ-	一研究室	災害	F時地域医療支援教	育センター	-研究室	災害旺	寺地域医療支援	教育センター	开究室
区分等	区分	講義・演習	単位	1	区分	講義・演習	単位	2	区分	講義・演習	単位	2	区分	講義・演習	単位	4
E27 ()	回数	前期8コマ	配当年次	1	回数	前期15コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	2
主な 授業内容	災害医学	≠の基本概念の修得					災害現場を修得す	· 、特殊災害(C	(BRNE災害)	での対応						
教育	ウ の対応に活かすことができるようになる。 ト CSCATTTについて説明できるようになる。 カ			有事の際	被災した医療機関において、適切な対応を行うことができ るようになる。 避難所の支援活動、運営を行うことができるようになる。			動から運ぎする。 収集した	営方法、情報収集の方法	からまとめ トを立てるこ	方までを修得	災害現場でのゾーニングや関係機関の役割を学び、3 場での医療活動のあり方を検討することができる。 特殊災害(CBRNE災害)について理解し、有事の腐 対応できるようになる。			きる。	
S	分野の達	達成目標			分野の達	成目標			分野の遺	<b>並成目標</b>			分野の達	成目標		
B 標達	(6) (7	7) (9)			(6) (7	7) (9) (10)			(7) (	9) (10)			(6) (8	3)		
特記事項	全講義後	対する事前学修の時 終了後は速やかに「: ・履修報告書」の記	受講票・履信	修報告書」	をWeb C	Classにアップロート	ぎすること。	で、期日まで	に再提出す	けること。						
評価方法	「受講票	・履修報告書」によ	り総合的に	評価する。	成績は、	ABCD (A:100~8	0点、B:79~	70点、C:69~	60点、D:5	59~0点)の4段階評値	盾とし、AE	3C(60点以上	:) を合格	とする(60点未泊	觜は再提出)。	
講義日程	時間割参	照														
教科書 参考書																

コード	MM11201050			MM11201060			MM11201070				MM11201080					
科目	災害医学基礎修練 4 (ロジスティクス)				災害医学1 (医療救護班・DMAT)			災害医学2 (情報)				災害医学3 (災害保健医療)				
科目責任者		真瀬智彦		真瀬智彦 真瀬智彦					真瀬智彦							
担当者	当者 真瀬智彦、藤原弘之、富永綾			ŝ	眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾				眞瀬智彦、藤原弘	之、富永	綾	ij	真瀬智彦、藤原弘之、冨岡正			
会場	災害師	時地域医療支援教育	センター	研究室	災害	<b>手時地域医療支援教</b>	[育センター	一研究室	災害	時地域医療支援教育	旨センター	-研究室	災害師	持地域医療支援教	育センター	研究室
区分等	区分	講義・演習	単位	4	区分	講義・演習	単位	2	区分	講義・演習	単位	2	区分	講義・演習	単位	2
- 区ガザ	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	1~2	回数	通年15コマ	配当年次	1~2	回数	通年15コマ	配当年次	1~2
主な授業内容		こおけるロジスティクン ウスの基礎を修得する。		解し、ロ		)災害派遣医療チーム 解救護班としての医療?				おける情報の重要性を学 最収集、情報処理、情報			災害時の伊 する。	保健医療分野における	対応の基礎知	識を修得
<b>*</b>	教 ウ ウ 方 存食住の確保、本部の立ち上げや情報の集約など、多 核にわたるロジスティクスの役割を理解し、有事の際 に対応できるようになる。			など、多	になる。			し、災害師になる。身	持においても情報を収集	・処理・分び、被災地	が析できるよう	過去の災害のモデルケースから保健所の役割や関係機 関との連携を学び、災害時の保健医療活動に活かすこ とができるようになる。				
S B B 標達	分野の達 (7) (8	E成目標 8) (9) (10)			分野の達 (6) (8				分野の達成目標 (7) (8) (9) (10)				分野の達成目標 (6) (8) (9) (10)			
	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 特記事項 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書   により総合的に評価する。成績は、ABCD(A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC(60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参	照														
教科書 参考書																

●各科目の授業計画 災害医学

●各科目	目の授業計画			災害医学
コード	MM11201090	MM11209010	MM11200920	
科目	災害医学4 (コーディネーター)	特別研究 I	特別研究Ⅱ	
科目責任者	真瀬智彦	各(正)指導教員	各(正)指導教員	
担当者	眞瀬智彦、富永綾、近藤久禎	各指導教員	各指導教員	
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室	各指導教員と相談の上決定	各指導教員と相談の上決定	
区分等	区分     講義・演習     単位     1       回数     通年8コマ     配当年次     1~2	区分     演習     単位     2       回数     通年15コマ     配当年次     1	区分     演習     単位     2       回数     通年15コマ     配当年次     2	
主な授業内容	災害時における行政の仕組みや災害医療コーディネーターの役割を理解する。 災害医療コーディネーターの役割を理解する。	<ul><li>・生命科学や研究手法の基礎的な知識</li><li>・研究計画調書の作成</li><li>・中間審査実施</li><li>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につ</li></ul>	<ul> <li>・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識</li> <li>・論文作成</li> <li>・最終審査の準備</li> </ul> 生命科学や研究手法の専門的な知識を身につ	
教育成果	コーディネーターと協力して災害対策本部や 医療救護班での調整業務等を行うことができ る。	適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。	ける。最終審査に向けて、情報を適切に分析 し、論旨を展開できる。 <論文作成> 2年次12月までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の 作成や記載ができ、論文が作成できる。	
S	分野の達成目標	分野の達成目標	分野の達成目標	
B 標達	(7) (8) (9) (10)	(2) (3) (5)	(2) (3) (5)	
特記事項	前頁に同じ	中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を 参照。		
評価方法	前頁に同じ	①受講票 ②中間審査結果	①受講票 ②学位申請論文の提出	
講義日程	時間割参照	•		
教科書 参考書				

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00			災害医学2	災害医学3	災害医学基礎修練1	圣灰行口
3 限	13:00~14:30		災害医学1				災害医学概論
4 限	14:40~16:10			災害医学基礎修練3		災害医学基礎修練4	災害医学4
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00			災害医学2	災害医学3	災害医学基礎修練2	圣诞行日
3 限	13:00~14:30		災害医学1				
4 限	14:40~16:10			災害医学基礎修練3		災害医学基礎修練4	災害医学4
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

## <履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						